

榛名神社社報

発行日 平成十九年七月十五日
 発行所 沼田市橋名町一八五
 電話〇二七四六五五
 http://hannamijinja.com/
 発行人 金子由紀子



榛名神社由緒記

御祭神

社名由来
 増山姫命 生命守護・五穀豊穡の神
 佐建命 開運・土地守護の神
 菅原道真命 学問守護・災難厄除の神
 建御名方命 (産業守護・健康長寿の神)

大社主命

(尚充繁盛・良縁結び・病氣平癒
 交通安全の神)

琴平宮・熊野社・船荷社・産泰社・五柱社
 厳島社・加茂社 面美縁

元縣社・利根沼田總鎮守
 沼田氏 真田氏・本多氏 黒川氏・土岐氏と代々の
 城主の崇敬を受け、その由緒の品々が今も保存され
 ている。特に本殿は享祿二年(1529)沼田政泰
 の建立、元和元年(1630)真田信之により改築
 され、豪壮華麗な桃山文化を今に伝える。

社頭講話 Ⅱ 神宮式年遷宮

Ⅰ 時間を超えて

来る平成二十五年、第六十二回式年遷宮が齎行
 されます。時間を超えて、遠く持統天皇の御代か
 ら二十年ごとに繰り返されてきました。なぜ、二
 十年ごとに遷宮が行われてきたのかについては、
 諸説がありますが、ひとつの理由としては、社殿
 木造建築の耐用年数。また、工匠等がつぎの世代
 に技術を伝えるべく、のちよよい年数というこ
 と、同時に、すべてを一新して、御神威の更
 なる発揚を願うためと考えられております。遷宮
 するのもがお祭りであって遷宮を行うこと自体
 大きな意義があります。新しく殿舎を建て替え、
 皇大神神に御遷りを願うそのこころに深い祈りがこ
 められているのです。

こうした式年遷宮も一時期、室町時代から約百
 三十年間、新たな社殿を造営する正遷宮でなく、
 仮殿に遷御して、社殿を修理するだけの仮殿遷宮
 となつた時代がありました。時代が乱れていた頃
 です。そんな中、慶光院というお寺の上人が再び
 正遷宮へ尽力され、現在に至つております。
 結果的に見ると、二十年を周期として行われて
 きたことが古代の建築様式や上代の最高の御装束
 ・神宝などの調度品などを現在に伝え、またさら
 に大切なことは、この制度を歴代天皇がお守り
 になり、それを時代と世相を超えて国家国民が支え
 継承してきたことではないでしょうか。

神宮と神社の関わり

伊勢神宮は一般にお伊勢様、大神宮様とよばれ
 ますが、正式には「神宮」と称し、日本人の心の
 ふささとして古くから親しまれてきました。天
 照大神神を祀る皇大神宮(内宮)と豊受大神神を
 祀る豊受大神宮(外宮)をはじめ別宮・摂社・末
 社・所管宮あわせて百二十五社を総称して言いま
 せん。仏教のように本山末寺という関係ではありま
 せんが、中でも内宮は皇皇の御祖神であると同

に私たち日本国民をお守りくださつていらっしゃる日本の
 総氏神様であり、全国約八万社の神社のその根本
 となるお社です。

第六十二回式年遷宮は、平成十七年の山口祭か
 ら始まり、今年には神宮の式年遷宮が使われる御用
 材を造る御木曳きの行事(第二次)がありました。前
 回の式年遷宮から一日神領民が認められ、五月
 十一日、沼田利根からも四十五人がこの行事に参
 加してまいりました。(榛名神社からも六名参加
 してまいりました。)この後は、来年度の宇治渡り
 治渡り始式等が齎行され、平成二十五年八月に
 は全国から一日神領民も参加できるお白石持ち行
 事があり、十月には遷宮のいろいろなお祭りが齎
 行される予定となっております。

式年遷宮奉賛のお願ひ

御々と続いてきた遷宮を無事完了させる為には
 皆さんの費用がかかります。なにとぞご理解の上
 ご奉賛下さいようお願い申し上げます。

奉納額 待 遇

- 千円以上………給はがき(御垣内参拝一回)
- 五千円以上………給はがきと給はがき(一〇)
- 一万円以上………参宮証と扇子(広報紙)

五万円以上………右 同

十万円以上………二百万円以上、百万円以上、
 二十万円以上、五十万円以上、
 一万円以上………それぞれの特遇があります。

2 木新箱こ 祇園
 末、材が 銭つて 祇
 議の(日) 戻上 の
 会二箱 盗神し
 三銭に、れ、手直
 盗銭決に、見後予
 が定よとこさ後予
 箱が定よとこさ後予
 新銭決に、見後予
 箱が定よとこさ後予

1 月、総され警たの祭
 17新代まのお出来
 未明の和た
 未明の和た
 未明の和た



平成十九年八月三、四、五日

〇 祇園祭執行について

左記の通り、祇園祭についての日程等をご案内申し上
 げます。

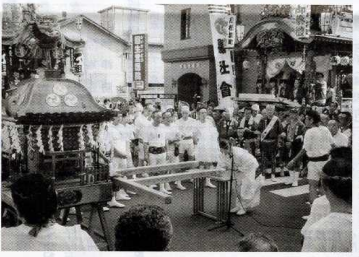
一、二日程

午前八時 神樂奉遷・神樂奉安祭
 午前八時 車にて渡御・榛名神社・薄根町
 午後二時 清水町・橋町・内町・氏子区域
 午後三時 東倉内町・西倉内町・材木町・東
 新町・西原町・厨下町・氏子区域
 文化会館にて昼食・休憩 文化会館
 上原町・桜町・高橋町・柳町
 午後一時頃 氏子区域
 午後二時 柳町祭典事務所着
 午後三時 奉仕団により渡御 柳町祭典事務所
 午後四時 柳町を出発
 午後六時 飯宮着御祭

恒例大祭

午後五時(日) 参集奉仕団により、御神輿の準備 飯宮
 午後四時 奉仕団により、遷御 飯宮
 午後五時三十分 須賀神社神輿、氏子区域山車との競渡 市役所前広場
 午後八時 境内に神輿到着予定 榛名神社
 午後九時 境内に神輿到着予定 榛名神社

一、飯宮・材木町・沼田・柳町・東倉内町
 本年度当番町 東原新町 来年度当番町 東倉内町



【昨年の沼田まつり 三日、縣社會の山車による神輿奉迎】